

令和5年度みんなで支える森林づくり県民税活用事業の実績について

森林政策課

1 令和5年度事業の執行状況について

令和5年度の森林づくり県民税（以下、「森林税」という。）活用事業の執行額は、当年度予算及び前年度繰越予算を合わせて487,480千円となった。（予算執行率78%）

（図表1 直近の年度別森林税執行状況）

（単位：千円）

年度	第3期					第4期
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算額	752,478	1,057,836	1,150,343	1,033,143	695,173	628,370
執行額	557,590	829,505	1,038,928	1,000,571	615,260	487,480
執行残額	194,888	228,331	111,415	32,572	79,913	137,390
予算執行率	74%	78%	90%	97%	89%	78%

※予算額は、当初予算と前年度からの繰越分の合算額

2 令和5年度事業の主な取組

(1) 第4期からの新たな取組

第4期からは、「再生林の加速化」や「広く県民が親しめる里山の仕組みづくり」等の取組等、ゼロカーボン実現に向けた森林資源の循環や、森林空間の活用による交流人口の増加に繋がる分野へ使途を拡大。こうした取組の令和5年度実績は概ね目標を達成。

（図表2 主な事業の計画と実績）

事業名（指標）	R5目標	R5実績
人工造林・初期保育の嵩上げ（再生林面積）	260ha	247ha
開かれた里山の整備・利用推進（県民が広く親しめる里山の箇所数）	10箇所	16箇所
森林サービス産業総合対策（森林サービス産業に取り組む地域プロジェクトの数）	10プロジェクト	10プロジェクト

【人工造林・初期保育の嵩上げ】
再生林の加速化【開かれた里山の整備・利用事業】
遊歩道の整備・イベント準備【森林サービス産業総合対策】
森林サービス産業の取組（森林セラピー）

(2) 第3期から継続した取組

防災・減災のための里山の整備（間伐）を推進する「みんなで支える里山整備事業」では、地元調整等に不測の時間を要し事業着手が遅延したことから、実績が目標を下回った。令和6年度事業では、各地域の事業者への説明やヒアリングを行う等、事業の積極的な活用を促すとともに早期に間伐が実施されるよう努める。

また、広く県民が利用する施設の木造・木質化を支援する「あたりまえに木のある暮らし推進事業」では、資材価格高騰の影響を踏まえた再設計により、事業規模の縮小や令和6年度以降に見送る案件が複数生じて実績は目標を下回った。

一方、学校林の整備や森林環境教育の取組を支援する「学びと育ちの森づくり推進事業」では、目標以上の学校で取組が行われた。

(図表3 第3期からの継続事業等の計画と実績)

事業名(指標)	R5目標	R5実績
みんなで支える里山整備事業(防災・減災のための里山の間伐面積)	400ha	160ha
あたりまえに木のある暮らし推進事業(木造・木質化の箇所数)	11箇所	7箇所
学びと育ちの森づくり推進事業(森林環境教育・学校林整備)	10校	19校



防災・減災のための里山の間伐



広く県民が利用する施設の木質化

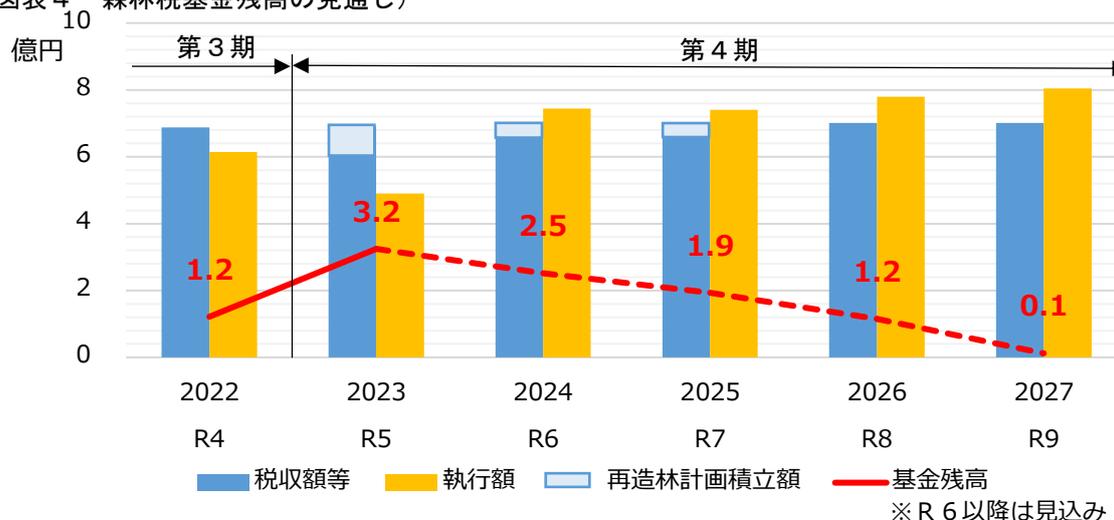


学校林での林業体験実習

3 森林税残高の推移

令和5年度の森林税残高は、第3期末(令和4年度末)の約1.2億円から約2億円増加し、約3.2億円となった。このうち、約7千万円は再生林面積の段階的増加に備えた計画的な基金積立分。

(図表4 森林税基金残高の見通し)



4 今後の基金活用の見込み

- 第4期後半に向けて段階的に面積が増加する再生林の加速化に活用
(R5年度260ha ⇒ R9年度900ha)
- 再生林の加速化に係る機械化による省力化の推進や獣害対策等の新たな課題の解決の取組に活用
- 防災・減災のための里山の整備(間伐)の取組に活用

事業名		令和5年度 事業実施状況				担当課室	
		令和5年度目標（上段） 実績（下段）		達成率	事業費（円）		
					当初予算（上段） 執行額（下段）		
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり							
①	人工造林・初期保育の高上（信州の森林づくり事業）	再造林面積	260ha 247ha	95%	93,600,000 106,685,400	森林づくり 推進課	
②	防災・減災のための里山整備（みんなで支える里山整備事業）	防災・減災のために 必要な里山の間伐	400ha 160ha	40%	148,200,000 91,036,000	森林づくり 推進課	
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり							
③	開かれた里山の整備・利用	県民が広く親しめる 里山整備利用地域数	10箇所 16箇所	160%	55,590,000 28,292,650	森林づくり 推進課	
-1	開かれた里山の整備事業（みんなで支える里山整備事業）		(34,400,000) (8,906,400)				
-2	開かれた里山の整備事業（整備・利用推進事業）		(21,190,000) (19,386,250)				
④	あたりまえに木のある暮らし推進事業	木造・木質化等の箇所数	11箇所 7箇所	64%	40,000,000 14,551,068	県産材利用 推進室	
		うちR6へ繰越	2箇所 4,234,000				
⑤	信州やまほいく認定団体保育環境向上事業 （信州やまほいく認定園のフィールド整備）	フィールド整備箇所数	8箇所 8箇所	100%	5,800,000 5,800,000	こども・ 家庭課	
⑥	学びと育ちの森づくり推進事業（学校林等の整備及び活動支援）	学校林整備等の実施箇所数	10箇所 19箇所	190%	6,230,000 5,640,587	信州の木 活用課	
⑦	まちなかの緑・街路樹の整備	まちなかの 緑地整備事業	緑地整備箇所数	2箇所 1箇所	50%	6,000,000 1,000,000	都市・ まちづくり課
⑧		まちなかの緑地 保全（補助）事業	緑地の保全延長	6.4km 4.5km	70%	12,000,000 10,031,000	都市・ まちづくり課
⑨		観光地周辺の街路樹整備 （県単道路橋梁等維持修繕費）	整備延長	4.0km 3.4km	85%	10,000,000 10,000,000	道路 管理課
III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援							
⑩	森林サービス産業総合対策事業	森林サービス産業に取り組む 地域プロジェクト数	107プロジェクト 107プロジェクト	100%	19,933,000 16,655,986	信州の木 活用課 森林づくり 推進課	
		うちR6へ繰越	1,740,000				
⑪	信州ネイチャーセンター構築事業	エコツーリズムガイドの 育成人数	5人 6人	120%	1,900,000 1,899,700	自然保護課	
⑫	多様な林業の担い手確保育成事業	多様な林業に関わる 新規就業者数	40人 調査中		11,530,000 5,431,677	信州の木 活用課	
IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決							
⑬	市町村森林整備支援事業	ライフライン等の保全対策	ライフライン沿いの 支障木等伐採箇所数	50箇所 59箇所	118%	66,600,000 69,439,000	森林政策課
		観光地の景観整備	観光地の景観整備箇所数	20箇所 28箇所	140%	24,192,000 34,810,000	
		緩衝帯の整備	緩衝帯の整備箇所数	20箇所 20箇所	100%	15,660,000 15,107,000	
		枯損木の利活用	枯損木利活用材積	2,000m ³ 832m³	42%	39,600,000 21,326,000	
		松くい虫被害木の処理	被害木処理材積	1,080m ³ 471m³	44%	20,460,000 7,733,000	
⑭	河畔林整備事業	整備箇所数	14箇所 19箇所	136%	39,375,000 38,510,000	河川課	
V 普及啓発、評価検証							
⑮	みんなで支える森林づくり推進事業	-	-		8,200,000 6,004,858	森林政策課	
R5予算額		628,370,000	R5執行額		487,479,926		
	うち、R4繰越	3,500,000		うち、R4繰越	3,500,000		
	うち、R5当初	624,870,000		うち、R5当初	483,979,926		